

2020年4月12日(日)朝10:10～
4月第2共同主日礼拝式説教

主の復活日、自由交歓会等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：主のご復活の朝(5)

聖書：マタイ 28章1～10節

＜口語訳＞

新約聖書49～50頁

マタイ 28章1～10節

＜新共同訳＞

新約聖書59～60頁

マタイ 28章1～10節

＜新改訳第3版＞

新約聖書62～63頁

マタイ 28章1～10節＜塚本訳＞

新約聖書161～162頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**の箇所です。

◇本日は、主の復活記念日にあたり、**マタイ28:1～10**から主のご復活が語りかけることに耳を傾けたいと願います。

⇒**マタイ**は、安息日の朝、墓を訪れた女性たちの一喜一憂を通して、復活の主の語りかけを聴き、なすべきことを示しています。

⇒女性たちは、震えあがるほどの恐れと体の硬直を感じました。

⇒天の使いも、**御子イエス・キリスト様**も、「恐れれることはない、と言い」、**御子イエス・キリスト様**は、ガリラヤに行くように弟子たちに言いなさいと命じられました。

⇒女性たちは、稲妻のようで、雪のように白く輝く天の使いの姿に脅威を感じました。

⇒「ガリラヤ」は、**御子イエス・キリスト様**と会える希望のところでした。

本論；

◇本日、**マタイ書28章1～10節**から主の**使信**に**思い・心**をとめます。

◆**マタイ28章1～10節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様の復活を通して**、希望の**ガリラヤへ行く**ようにと、復活の主が**語っている**と宣言しています。

◇**28章1～10節**；**塚本訳◆復活の朝**

- 「1 安息日の(すんだ)後、週の初めの日[日曜日]の明け方に、マグダラのマリヤともう一人のマリヤとが墓を見に行った。
- 2 すると突然大地震がおこった。それは主の使が天からおりて来て(墓に)近寄り、(入口の)石をわきまにころがし、その上に坐ったのである。
- 3 その顔は稲妻のようにかがやき、着物は雪のように白かった。
- 4 見張りをしていた者たちは恐ろしさのあまり震え上がって、死人のようになった。
- 5 天使は女たちに言った、「恐れることはない。あなた達は十字架につけられたイエスをさがしているようだが、

- 6 ここにはおられない。かねがね言われたとおり、もう復活されたのだから。来て、お体が置いてあった場所を見なさい。
 - 7 それから急いで行って弟子たちに、『イエスは死人の中から復活された。あなた達より先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる』と言いなさい。これを言いにおわたしは来たのだ。」
 - 8 女たちは恐ろしいが、また嬉しくてたまらず、(中には入らずに)急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走っていった。
 - 9 するとイエスがぱったり彼らに出合って、「お早う」と言われた。女たちは進み寄り、その足を抱いておがんだ。
 - 10 するとイエスは女たちに言われる、「恐れることはない。行ってわたしの兄弟たち[弟子たち]に、ガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのだから。」と、**使徒マタイ**は語っています。
- ◇**1～7節**；「安息日の(すんだ)後、週の初めの日[日曜日]の明け方に、マグダラのマリヤともう一人のマリヤとが墓を見に行った(1)」、

「すると突然大地震がおこった。それは主の使が天からおりて来て(墓に)近寄り、(入口の)石をわきにころがし、その上に坐ったのである(2)」、「その顔は稲妻のようにかがやき、着物は雪のように白かった(3)」、「見張りをしていた者たちは恐ろしさのあまり震え上がって、死人のようになった(4)」、「天使は女たちに言った、「恐れることはない。あなた達は十字架につけられたイエスをさがしているようだが(5)」、「ここにはおられない。かねがね言われたとおり、もう復活されたのだから。来て、お体が置いてあった場所を見なさい(6)」、「それから急いで行って弟子たちに、『イエスは死人の中から復活された。あなた達より先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる』と言いなさい。これを言いわたしは来たのだ(7)」と、「ここにはおられない。かねがね言われたとおり、もう復活されたのだから。来て、お体が置いてあった場所を見なさいそれから急いで行って弟子たちに、『イエスは死人の中から復活された。あなた達より先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる』と言い

なさい。これを言いにおたしは来たのだ」と、「天の使い」は語りました。

⇒「天の使いの顔は稲妻のようにかがやき、着物は雪のように白かった(3)」のを見て、「見張りをしていた者」は、「恐ろしさのあまり震え上がって、死人のようになった(4)」と、主と**マタイ**の皮肉が込められているとされます。主は死んで遺体は盗まれたと宣伝していたのに復活を目撃すると、「墓の見張りは、死人のようになったのです」。

⇒「復活」の事実の前には、人間は全く無力です。

◇**8~10**；「女たちは恐ろしいが、また嬉しくてたまらず、(中には入らずに)急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走っていった(8)」、「するとイエスがぽったり彼らに出合っ
て、「お早う」と言われた。女たちは進み寄り、その足を抱いておがんだ(9)」、「するとイエスは女たちに言われる、「恐れることはない。行ってわたしの兄弟たち[弟子たち]に、ガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのだから(10)」と、「主」は、「するとイエスは

女たちに言われる、「恐れることはない。行ってわたしの兄弟たち[弟子たち]に、ガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのだから」と、「ガリラヤに行くように命じ、そこで主に会える」と、主の弟子たちに約束のことばを伝えるように言われたのです。

⇒「ガリラヤ」は、復活の主が天に上げられるのを目撃し、再び来ると主が約束された土地です。主とともに働いた思い出の地でもあります。

⇒「ガリラヤ」は、弟子との交わりと約束との地です。ある人には思い出と記念の所であり、復活の主を週の初めに覚える教会の礼拝、個人的な主との交わりの場です。

⇒ある方が、昨日十字架にかかり、今日復活し、明日主が来て下さるように今日生きると告白されました。

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇本日は、主の復活記念日にあたり、**マタイ28:1～10**から主のご復活が語りかけることに耳を傾けたいと願います。
- ⇒**マタイ**は、安息日の朝、墓を訪れた女性たちの一喜一憂を通して、復活の主の語りかけを聴き、なすべきことを示しています。
- ⇒女性たちは、震えあがるほどの恐れと体の硬直を感じました。
- ⇒天の使いも、**御子イエス・キリスト様**も、「恐れれることはないと言ひ」、**御子**は、ガリラヤに行くように弟子たちに言いなさいと命じられました。
- ⇒女性たちは、稲妻のようで、雪のように白く輝く天の使いの姿に脅威を感じました。
- ⇒「ガリラヤ」は、**御子イエス・キリスト様**と会える

希望のところでした。

⇒ローマ6;11【口語訳】

11 このように、あなたがた自身も、罪に対して死んだ者であり、キリスト・イエスにあって神に生きている者であることを、認むべきである。